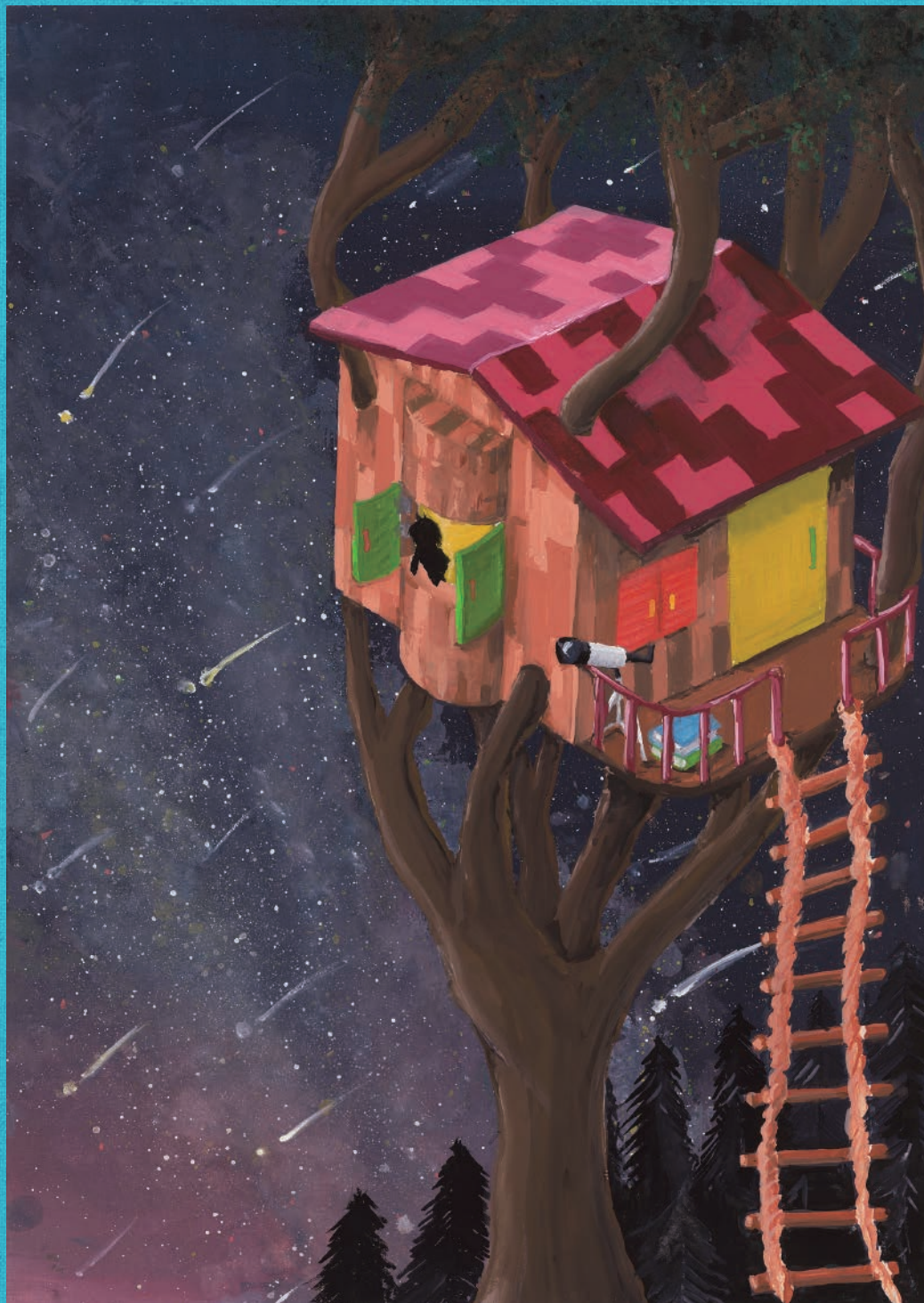


BBS GROUP NEWS

お客様とBBSをつなぐコミュニケーションツール

Vol.60
JANUARY
2021



BBS 絵画コンクール「最優秀賞」鈴木 優花さん(札幌市)の作品

CONTENTS

コンサルタントコラム①	BBSと学ぶ①
DX時代に向けた経営管理体制の整備 ————— 2	おこづかいのはなし ————— 6
コンサルタントコラム②	
新型コロナ対応でペーパーレス化が進展 ————— 4	BBS絵画コンクール 受賞作品発表! ————— 裏表紙

DX時代に向けた経営管理体制の整備

デジタル技術の進化は、産業界および企業経営に大きな影響を与えつつあります。デジタル技術は、既存事業の競争要因を変え、新たな製品・サービスを生み出し、新たな市場を創出すると考えられます。事業オペレーションの進化は、経営管理や意思決定のあり方についても変革を迫ることになります。本コラムでは、「DX時代に向けた経営管理体制の整備」を進める上での要点について考えます。

DXの進展と 産業界および企業経営への影響

デジタル技術の進化は、GAFA（グーグル、アップル、フェイスブック、アマゾン）だけではなく、これまでデジタル化と無縁と思われてきた産業にも大きな変化を起こしています。

車を所有せずに、世界最大（70カ国以上450都市以上）のタクシー会社となった「Uber」。宿泊施設を持たずに、世界最大（192カ国以上3万都市以上）のホテル業となった「Airbnb」。不動産を所有せずに、世界最大（150都市、800拠点以上）のレンタルオフィス業となった「WeWork」。製造業では、センサーを付け、遠隔操作、稼働管理、盗難防止、保守管理などの付加価値を提供し、数千万円の建設機械を売る「Komatsu」。このように、先進事例には事欠きません。

これらに共通するのは、デジタル技術を活用し、新たなビジネスモデルにより「**新たな価格構造**」「**新たな付加価値**」「**新たな競争基盤（プラットフォーム）**」という顧客価値を創出・提供していることです。

そして、DXによりビジネスモデルが刷新・創出されるのに合わせて、**企業の経営管理の「DX時代に向けた改革」が、必須**となっています。

日本企業が抱える 経営管理領域の課題

これまで企業の経営管理は、業務ニーズの変化、法制度の要請、ITの進化に合わせて、段階的に整備が進められてきました。

具体的には、決算日程短縮、業務効率化をめざした単体会計の整備に始まり、その後、開示要請を受けた連結会計の導入、グローバル化に伴うグループ業績の把握、内部統制報告制度への対応、移転価格税制への対応、資金・為替管理などの財務管理の強化が行われてきました。しかし、企業の対応状況にはバラつきがあり、また「積み残し課題」も散見される状況にあります。

（1）精度・効率の課題

各種処理の過程で、手ごろなExcelを多用したために、体系的なシステム整備となっていない事例が多くあります。業務遂行の各段階で手集計が存在し、精度・スピードの面で課題が見られます。

（2）バラつきの問題

グループで標準化を徹底できておらず、会計基準、コード体系、会計システム基盤などが不統一であり、会計情報（事業の費用構造や損益、製品の原価や採算）の比較可能性確保が困難になっており、結果として情報管理に課題が見られます。

DXの潮流を受けた 経営管理の変革への要請

デジタル技術は、既存の事業の競争要因を変え、さらに新たな事業機会を生み出します。新規事業の創出、既存事業の変革に伴う経営管理全体の変革が求められます。「積み残し課題」を克服し、さらに以下の要請に対応するための経営管理の整備を行う必要があります。

(1)スピード経営

変化し続ける「競合状況」と「顧客ニーズ」を見極め、事業機会を掴んでいくことが事業継続の条件となります。従来のように、改良を重ね、コストを削り、品質や商品力を高め、競合を上回るだけでは足りません。変化を見極め、迅速に意思決定する圧倒的な「スピード経営」が求められます。

(2)データ経営

「スピード経営」を実践していくためには、経営実態をデータとして常に把握し、都度、意思決定を行っていく「データ経営」が必須となります。Excelによる「ボタンタッチ式のレポートニング」、データによらない「勘と経験による意思決定」から脱却し、経営情報を現場と経営層が同じデータ、経営指標を共有し、意思決定する姿が求められます。

DX時代に向けた 経営管理体制の整備上のポイント

経営管理体制の整備を行う上では、以下のポイントに留意し、グランドデザインを策定し、体系的かつ継続的な取り組みを行う必要があります。

(1)業務の効率化

効率化を支える標準化、プロセスの見直しを行い、「データ処理の自動化と精度確保」を図る。

(2)経営実態の見える化

製品の原価や採算、費用構造、販売動向、業績変動要

因など、経営実態の「データによる見える化」を図る。

(3)情報の共有化

事業部や国内外子会社で分散管理されている情報を集約するリードタイムを短縮し、現場と経営層が同じデータを見て、各々の局面で最適な意思決定が行えるよう「データの共有化」を図る。

(4)意思決定方式の変革と組織運営の変革

DXが進展するなかで、会計情報やオペレーション情報（販・購・生・在）に加え、IoTなどから収集される膨大な「現場情報」が入手可能となる。そのため、情報の「分析力の確立」と最適な分担のなかでの意思決定が行える「組織運営の変革」を図る。

Yoshiyuki Kurabayashi

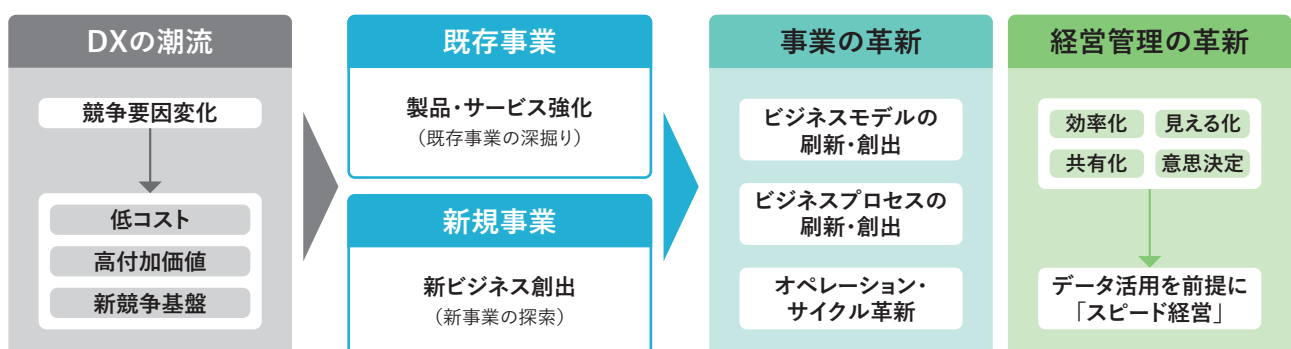
倉林 良行

シニア・フェロー
会計システム研究所 所長

大手製造業に入社。本社の情報部門にて国内外の大規模システムを企画・設計。欧州統括会社、事業部にて、事業計画策定・業績管理を担当。監査室にて、国内外拠点を業務監査。BBSに転職後、グランドデザインの策定を中心にコンサルティングを実施。また、コンサルティングの方法論の開発と教育を実施。



DX時代のあるべき企業行動



新型コロナ対応でペーパーレス化が進展

国内の労働人口の減少や新型コロナウイルスの流行による在宅勤務の拡大を背景に、業務のペーパーレス化によって生産性の向上を図る動きが加速しています。一方で、ペーパーレス化を検討しているお客様が、そのポイントがわからず、試行錯誤されている状況も見受けられます。そこで、本コラムではペーパーレス化を検討する際に重視すべき視点を紹介します。

ペーパーレス化の検討の視点

ペーパーレス化と言うと、電子帳簿保存法への対応だけを考える方がいらっしゃいます。しかし、「ペーパーレス化=電子帳簿保存法対応」でしょうか？

ペーパーレス化の業務を実現するには、**以下の4つの視点**が重要と考えます。4つの視点とは、

- ① 効率的なペーパーレス業務の実現
- ② 国税当局への対応（国税調査・電子帳簿保存法への対応）
- ③ 監査法人への対応（財務諸表監査への対応）

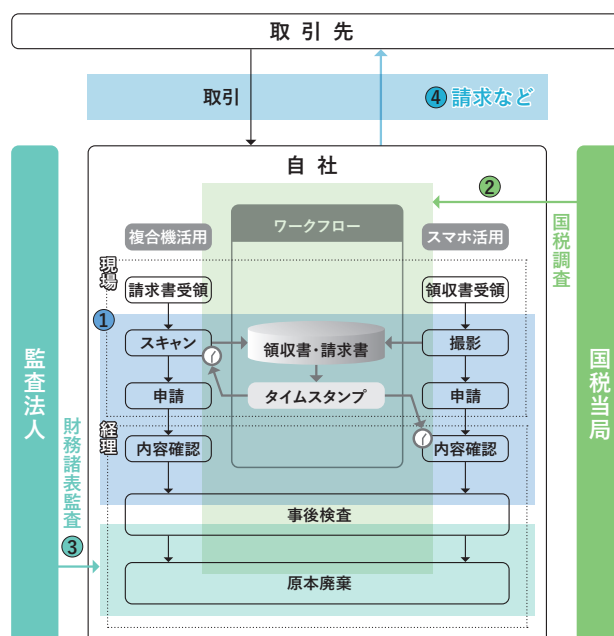
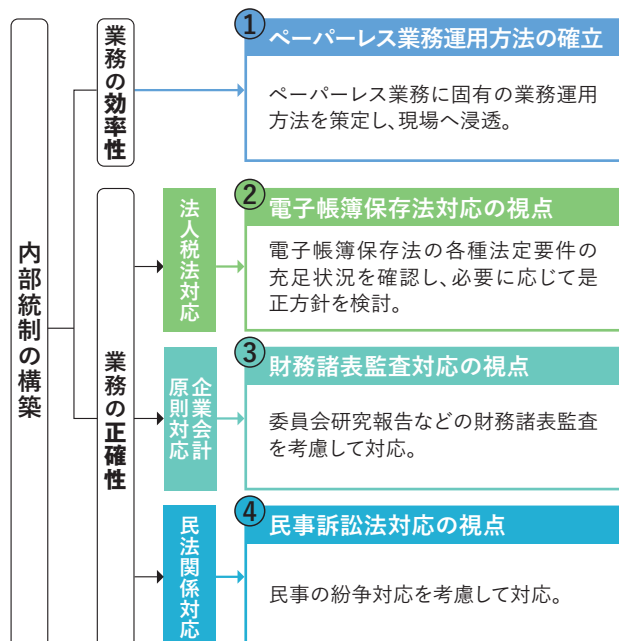
④ 取引先への対応（民法・民事訴訟法などへの対応）を指します。

これまで経理の方々は、紙の束を相手に業務を行ってきました。ペーパーレス化が実施されると、経理の方々は、**大量の紙ではなく、大量の画像データを相手に業務を実施**する必要があります。業務の環境が全く変わることになります。この**新しい環境のもとで、内部統制をどのように構築するかを検討することが重要**です。

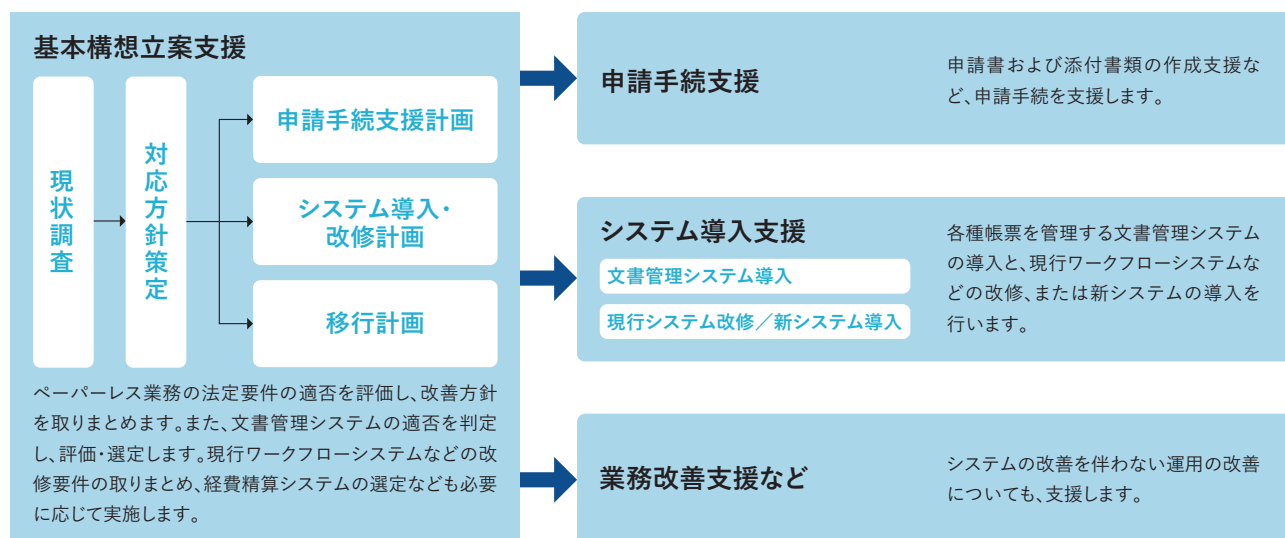
ここでの「内部統制の構築」とは、主に

- ペーパーレス環境において、どのようにして業務を効率的に行うか（**効率性の担保**）
- ペーパーレス環境において、どのようにして業務の正確性を

ペーパーレス業務実現に向けた4つの視点



スキャナ保存支援サービスの概要



を担保するか（**正確性の担保**）

を指しています。

前者は、冒頭の4つの視点の①が該当します。大量の画像データによる業務を効率的に実施できる仕組みを検討する必要があります。膨大な画像データをクリックする作業、画像データを確認する作業などの効率性を担保しなくてはなりません。

後者に関しては、法規制への対応という観点から、②③④の視点を挙げています。現状は、正確性の観点の法要件が充実しており、法要件を充足すれば、正確性はおおよそ担保できるかと思います。正確性の3つの視点のなかでは、電子帳簿保存の要件が多く、②の視点が中心になりますが、③の視点、④の視点を忘れてはなりません。

ペーパーレス業務の実現を支援するBBSのサービス

ペーパーレス化による業務効率の向上をめざすお客様のために、ヒアリングや現状調査を通じて業務における課題を抽出・分析します。その上で、お客様と「あるべき姿」を共有しながらシステム構築を進めています。会計・税務の実務に精通したスペシャリストを多数擁するBBSは、**業務の効率化を実現し、かつ法的要件を満たし業務の正確性を担保するシステムの設計・開発だけでなく、税務当局への申請書などの届出、運用までを一貫してサポート**しています。

仮に、開発段階で法的に不明確な要素があれば、お客様とともに税務当局などの関係機関に確認し、また、将来の税制改正動向を踏まえながら、法要件に的確に対応します。法要件・将来の法制度の改正動向を視野に入れながら、ペーパーレス化により業務の効率化・正確性双方を担保するシステムを構築します。

またBBSでは、文書管理システムの選定、電子インボイスなどのクラウドサービスの選定、RPAをはじめ先端技術の採用による入力作業などの自動化や、課題分析に基づく会計・税務業務の標準化に向けた計画立案・実施など、お客様のニーズに応じた多様な提案を行っています。さらに、貿易業務への対応、電子帳簿保存法以外のe文書法全般にわたる対応も支援しています。

Keiichi Yano

矢野 敬一

コンサルティング本部 CPA室 シニアマネージャー
公認会計士 税理士

私立開成高等学校、学習院大学法学部法学科卒業後、大手監査法人に入所。その後、大手ERPベンダーを経て現職。内部統制整備、経理業務改革、ERP導入の支援を行うなかで、近年はペーパーレスの専門家として多くの業務改革プロジェクトに従事。セミナーでも多数講演している。





はじめに

BBSは会社の経営や会計をサポートする会社。お金や仕事の進め方について、たくさんを知っています。このコーナーでは、小中学生のみなさんが大人になって、社会で活躍していくときにきっと役立つ知識をわかりやすく解説していきます。



先生

みなさんは、もし好きなだけおこづかいをもらえたら、どんなことをしたいですか？

おいしいものをお腹いっぱい食べたい！
好きなおもちゃをたくさん買いたい！
あこがれの場所に行ってみたい！
やってみたいことはいっぱいあるよ！



生徒



そうですね(笑) でもおこづかいは、好きなときに、好きなだけもらえるわけではないよね。そこで今回は、**じょうずにおこづかいを管理する方法**を学んでいきましょう！

さっそくですが、みなさんは、どうしておこづかいをもらえるのか考えてみたことはありますか？

うーん、あんまり考えたことないなあ…。



生徒



それは、おうちの方が仕事をして、お金をかせいでくれるからです。おうちの方は外で働くことで**給料というお金をもらっています**。みなさんは、その一部を少し分けてもらっているわけです。

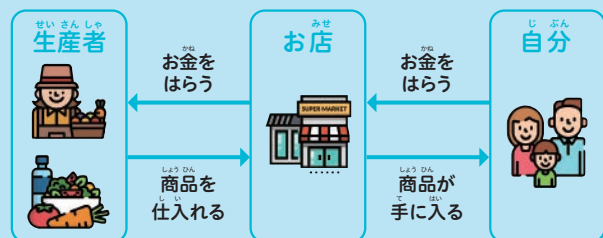
それなら、お父さん、お母さんみたいに今すぐ働いてみたいなあ！



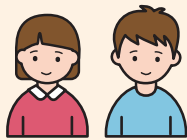
もっとわしく！ お金の管理＝「会計」は会社の基本のひとつ！

お金の管理が大切なのは、仕事をする場所(会社)でも同じです。会社は、商品やサービスを売って、お金をもらっています。たとえば、お店でお金をはらって商品を買ったとします。そうすると、お店は、そのお金で店に並べる商品を仕入れたり、そこで働く人たちに給料をわたしたりすることができます。

もし、スーパーマーケットやレストランがなくなったら悲しいですね。そうならないために、会社は会計をしっかり行い、よい材料を仕入れ、新しい商品をつくって、たくさんの人に売っています。これをくり返して、会社を成長させることを「経営」といいます。みなさんが楽しい生活を送れるように、さまざまな会社ががんばって経営しています。



いのはなし



せいと
生徒



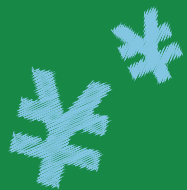
残念ですが、**子どもは働くことが
できません。**日本には「労働基準法」
という仕事をするときのルールがあって、
15歳になって最初の3月31日が
終了するまでは働くことができないんだよ。



そうなんだ。お金をもらえると
思ったのに…。



でも、お仕事の代わりに、おうちでお手伝いをすることはできるよね。
お手伝いは仕事を知るよい機会なんだよ。
おやつやお金をもらえるかもしれないしね。



ところで、みなさんは、
おこづかいをもらったらどうしていますか？

貯金することもあるけれど、
すぐ使っちゃうこともある…。



最初にお話ししたとおり、おこづかいは
好きなだけもらえるわけではありません。
なので、しっかり管理することが大切です。

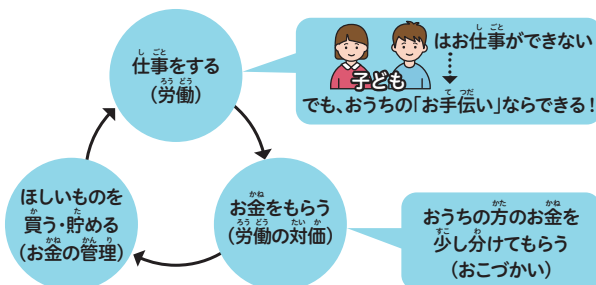
ん？
どんなふうにすればいいの？



まずは、**もらったおこづかいと、使ったおこづかいを記録**してみましょう。おこ
づかいをもらったら、ノートに書いたり、パソコンを使ったりして、「いつ、だれから、いくら
もらったか」などを記録しておきましょう。そうすると、いつの間になくなってしまった、
使い切ってしまった、ということはないでしょう。このようにお金の流れを記録することを
会社では「**会計**」といい、みなさんが大人になっても覚えておいた方がよいことなのです。



今までの説明を図で表すとこん
な感じですね。自分のためにも、
おうちの方のためにも、お手
伝いは積極的にするようにし
て、もしおこづかいをもらえたら、
しっかり管理するようにし
たいですね。



BBSは、日本のルール(法律)にそって、情報技術(IT)をじょうずに使い、会社の経営・会計をお手伝い
しています。経営や会計といわれても、よくわからない人も多いと思いますが、まずはおこづかいを大切
にして、記録することから始めてみましょう。また、おこづかいをもらっていても、もらってなくても、お
うちのお手伝いはちゃんとしましょうね！

本日の先生：BBS 社長室長 萩原 健太

BBS GROUP NEWS

Vol.60 JANUARY 2021

BBS 絵画コンクール 受賞作品発表!

たくさんのご応募ありがとうございました。

テーマ:もしも「おこづかい」をたくさんもらえたら

さいゆうしゅうしょう
最優秀賞

すずき ゆうか
鈴木 優花さん (札幌市)



『僕だけの秘密基地で』

おこづかいをたくさん貰えたら、望遠鏡と図鑑を持って自分のツリーハウスに登って美しい星空をみたい、そんな夢を詰め込みました。

ゆうしゅうしょう
優秀賞

こばやし えりな
小林 恵理奈さん (岐阜県各務原市)



『私の動物王国』

私はおこづかいがたくさんあったら、小さいころから夢だったブラックライオンとホワイトタイガーとさると鳥を飼いたいです。そして大自然の中に家建てて、みんなで仲良くくらしたいです。

ゆうしゅうしょう
優秀賞

くさの かほさん (さいたま市)



『かみひこうきによって、オーロラをみにいきたい』

わたしは、こうさくやおりがみが大好きで、いつか、かみひこうきによって、オーロラをみにいきたい! という思いがあったので、それをかみにかきました。

キッズ向けコーナーがあるよ!

BBSと学ぶ

1

おこづかいのはなし

←.....
ページをめくってみてね!

かきく
佳作

こもだ あやな
孤田 彩菜さん (東京都板橋区)



『夢という世界へ』

もしも「おこづかい」をたくさんもらえたら、大好きな写真を撮りに、世界中をめぐる、いろんな人と話して、たくさんの風景を見たいです。

かきく
佳作

たんげ まい
丹下 舞香さん (名古屋市)



『家族と温泉旅行で卓球勝負!!』

いつもがんばってくれている家族へのご褒美に温泉に連れて行ってあげたいです。そしてみんなで卓球勝負をしたいです。この作品では、家族で楽しそうに温泉旅行先で卓球しているところを描きました。色んな表情をつけて、楽しさを表現しました。